



板二だより

令和7年度1月号

令和8年1月8日

学校情報化優良校・ユネスコスクール認定校

板橋教育ビジョン研究奨励校（自己調整学習）

小学校教科担任制等推進モデル校

板橋区立板橋第二小学校

校長 小澤 裕行

新しい年がはじまりました

校長 小澤 裕行

新しい年を迎える、子供たちが「今年はこんな自分になりたい」と目を輝かせている様子を見ると、大きな期待を感じます。特に今年は午年、丙午です。丙は「陽の火」を表し、勢いが強い、活発、物事が発展するという意味が込められているとのことです。年の初めは、自分の歩みを整え、前向きにスタートを切る大切な時期です。本校でも、子供たちが自ら学びをつくり出せる一年としていきたいと考えています。

「不易と流行」という言葉があります。変わらず大切にしていくべきもの（不易）と、時代とともに変わっていくもの（流行）を見きわめるという教えです。社会を見渡すと、キャッシュレス化の進展や、年賀状が減りデジタルでの挨拶が主流になりつつあることなど、時代はめまぐるしく変化しています。しかし、相手を思いやる気持ちや、努力を積み重ねる姿勢など、人として大切な価値は変わることはありません。「不易」は日頃、私が大切にしている「凡事徹底」にも通じる部分があると思っています。

その「不易」にあたる力を育てていくために、本校では「自己調整学習」に取り組んでいます。自分で目標を立て、取り組んだ結果を振り返り、次につなげる力は、変化の大きい時代を生き抜くための重要な基盤です。大リーグで活躍する大谷翔平選手の「目標達成シート」は、有名です。ご存じの方も多いとは思いますが、大谷選手は子供の頃から、自分の夢を細かな目標に分け立て、日々の行動をコツコツと積み上げてきたそうです。まさに“自分で自分を伸ばす”学びの姿です。

本校でも、子供たち一人ひとりが自分に合った目標を設定し、小さな達成を積み重ねながら成長を実感できるよう、また目標に対する達成度や現状を理解できるようにするために、振り返りを実践させていきます。一年の始まりに立てた目標が、子どもたちにとって確かな自信となるよう、ご家庭とも連携しながら支えてまいります。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

最後に、これからますます寒さが厳しくなります。区内では11月頃からインフルエンザをはじめ様々な病気が流行っています。ご家庭での体調管理をよろしくお願いいたします。

3学期はあつという間

3学期の3ヶ月は以下のことについてお話ししたいと思います。

1月…生活リズムや学習習慣そして体調の立て直し

2月…学年の総復習、学力の底上げ、心の不安定さへのケア

3月…苦手克服の最終調整、進級進学に向けての準備や気持ちの整理